令和4年度（2022年）モニタリングシート

施設名	元八王子東小 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置 【常勤数、非常勤数、加配数】	在籍児童数に見合った職員配置であるか 【日報】	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	C ・7/30～8/3にかけて、常勤及び非常勤職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したことにより、適切な配置人数の確保ができていない。 （学童保育所代替対策期間7/30～8/3） ・代替対策期間をきっかけに、学校アドバイザーや放課後子ども教室の職員が応援に入る等、お互いに協力して連携することが増えた。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B 職員退職に伴い、人員配置数の確保が難しい日が続いていたが、放課後子ども教室職員の応援もあり、適正な人員配置を行うことができている。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B コロナの感染も落ち着き人員配置基準沿った運営ができている。
		資格者は事業計画どおり配置されているか 【「放課後児童支援員」・「放課後児童育成支援師」・「放課後児童専門育成支援師」】		B	事業計画どおり適正に配置されている。	B	B	事業計画どおり適正に配置されている。	C 7/30～8/3にかけて、常勤及び非常勤職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したことにより、適切な資格者の確保ができていない。 （学童保育所代替対策期間7/30～8/3）	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B 職員退職に伴い、人員配置数の確保が難しい日が続いていたが、放課後子ども教室職員の応援もあり、適正な人員配置を行うことができている。	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B 事業計画書通り配置
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	適切に作成している。	B	B	適切に作成している。	B	B	適切に作成している。	B	B	適切に作成している。	B
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【銀行口座の通帳の有無】	B	適正である。	B	B	適正である。	B	B	適正である。	B	B	適正である。	B
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【独立した会計帳簿】	B	明確化が図られている。	B	B	明確化が図られている。	B	B	明確化が図られている。	B	B	明確化が図られている。	B
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B	B	適正に徴収されている。	B	B	適正に徴収されている。	B	B	適正に徴収されている。	B
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行できている。	B	B	適正に執行できている。	B	B	適正に執行できている。	B	B	適正に執行できている。	B
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、研修等人材育成がなされているか 【研修件名・内容】	A	法人内の独自研修をはじめ、外部講師を招いての研修、職層別のオンライン研修を実施し、職員の資質向上等、自己研鑽が図られている。	A ・女性職員から男性職員の育成への関わり方についての意見が出てきた為、身体接触や言葉遣いに関する【男性指導員研修】を実施に合わせて実施した。 ・以下、動画研修にて 【責任者研修】 【個人情報の基礎】 【けが対応の基礎】 【児童館利用者対応の基礎】 【保護者対応の基礎】 【危機管理の基礎】 【会社の基礎】	A	法人内の独自研修をはじめ、外部講師を招いての研修、職層別のオンライン研修を実施し、職員の資質向上等、自己研鑽が図られている。	A 以下、動画研修にて ・【学童子ども対応の基礎】 ・【要配慮児童の基礎】 ・【学童連携の基礎】	A	法人内の独自研修をはじめ、外部講師を招いての研修、職層別のオンライン研修を実施し、職員の資質向上等、自己研鑽が図られている。	A ・放課後を過ごす同じ小学校内の子どもたちへ適切に対処できるよう、放課後子ども教室職員と合同で【心肺蘇生・エピペン研修】を外部講師を招いて実施した。 ・以下、動画研修にて 【遊びの基礎】 【おやつの基礎】 【虐待の基礎】 【ことばがけ研修】	A	法人内の独自研修をはじめ、外部講師を招いての研修、職層別のオンライン研修を実施し、職員の資質向上等、自己研鑽が図られている。	A 社内研修実（ZOOM）実施。参加後アンケート実施し課題を見つけ各職員のスキルアップにつなげている。
			給与の支出が適切に行われているか 【給与規程・賃金台帳】	B	適正に支出されている。	B	B	適正に支出されている。	B	B	適正に支出されている。	B	B	適正に支出されている。	B
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	B	適正である。	B	B	適正である。	B	B	適正である。	B
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	床清掃、エアコン清掃、窓清掃、非常通報装置保守点検が適正に行われている。	B	B	床清掃、エアコン清掃、窓清掃、非常通報装置保守点検が適正に行われている。	B	B	床清掃、エアコン清掃、窓清掃、非常通報装置保守点検が適正に行われている。	B	B	床清掃、エアコン清掃、窓清掃、非常通報装置保守点検が適正に行われている。	B 業者依頼し敵的に実施。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B	B	適切に処理されている。	B	B	適切に処理されている。	B	B	適切に処理されている。	B
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数及び開所時間は守られている。	B	B	開所日数及び開所時間は守られている。	B	B	開所日数及び開所時間は守られている。	B	B	開所日数及び開所時間は守られている。	B
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【事業報告書・実地調査】	B	適切に行われている。	B 物の破棄、育成室の大幅なレイアウト変更を行った。 （育成室前方入口扉が玩具で塞がれており、十分な避難経路が確保できていなかったり、育成の導線が悪かった為）	B	適切に行われている。	B 6月期同様、不要なものを育成室から撤去（小学校内の倉庫に保管）した。	B	適切に行われている。	B ・新型コロナウイルス感染症流行で先延ばしになっていた床清掃及びエアコンクリーニング、カーテンクリーニングを実施 ・小学校からの依頼もあり、昨年度から使用していない物や1育成室から撤去した物等、小学校の倉庫に保管していたものを全て廃棄した。	B	適切に行われている。	B 全事業者から引継ぎ必要無い物など処分を行い、環境整備を行えた。
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B 新型コロナウイルス感染症対策として、おやつ時に使用するパーテーションを各テーブル数×2台ずつ購入した。	B	適切に管理されている。	B	B	適切に管理されている。	B	B	適切に管理されている。	B
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	放課後子ども教室への参加・連携がなされているか		A	日頃から児童の参加が増えるように努めている。法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、職員間、運営組織の連携といった信頼関係の構築が図られ、また、児童が卒所した後も安心して放課後子ども教室に継続して参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態を評価する。	B 今年度は事業者変更もあり、小学校・学童・放課後子ども教室の三者会議にて、校庭の使い方や小学校のルールを改めて共有した。	A	日頃から児童の参加が増えるように努めている。法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、職員間、運営組織の連携といった信頼関係の構築が図られ、また、児童が卒所した後も安心して放課後子ども教室に継続して参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態を評価する。	A ・今まで全く関わりのなかった放課後子ども教室の職員が、学童保育所へ応援勤務に入ることで、お互いの事業への理解を深めることができた。 ・緊急時の対応（ケガや保護者対応等）の際に、お互いの児童情報を共有し、連携しながら対処ができるようになってきてい	A	日頃から児童の参加が増えるように努めている。法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、職員間、運営組織の連携といった信頼関係の構築が図られ、また、児童が卒所した後も安心して放課後子ども教室に継続して参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態を評価する。	A ・学童保育所、放課後子ども教室でそれぞれ実施していた職員会議に各責任者が同席するようにした。お互いの施設内の運営状況や児童情報を各施設へ卸せるように対応。	A	日頃から児童の参加が増えるように努めている。法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、職員間、運営組織の連携といった信頼関係の構築が図られ、また、児童が卒所した後も安心して放課後子ども教室に継続して参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態を評価する。	A 職員間の連携も取れ職員古流も実施。
		利用者の満足度3．0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3.0以上である。	
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	適切に対応されている。	B 小学校への忘れ物について保護者から意見を頂戴したが、小学校とも連携し、忘れ物をした際に学童から取りに戻るルールを新たに取り決めた。	B	適切に対応されている。	A ・学童での日々の様子（トラブルや友人関係等）を小学校や放課後子ども教室へ共有できるよう、開所日毎のミーティングノートを整備している。 ・以前学童に在籍していた児童が、放課後子ども教室にて友人とトラブルがあり、保護者から相談を受けた。その際に放課後子ども教室へ情報提供を行うことができた。	B	適切に対応されている。	B	B	適切に対応されている。	B
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	B	B	適切に行われている。	B
施設の運営が効率的な経営・管理・経費の節減が図られているか	定量的	節電、節水等経費の節減に積極的に取り組んでいるか		B	積極的に取り組んでいる。	B	B	積極的に取り組んでいる。	B	B	積極的に取り組んでいる。	B	B	積極的に取り組んでいる。	B
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からやむを得ず中止した行事を除いては、滞りなく実施できている。	C 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止も鑑み、行事数縮小。 毎月の誕生日会、リーフスポーツ、避難訓練等は固定実施。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からやむを得ず中止した行事を除いては、滞りなく実施できている。	C ・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止も鑑み、行事数縮小。 毎月の誕生日会、リーフスポーツ、避難訓練等は固定実施。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からやむを得ず中止した行事を除いては、滞りなく実施できている。	C ・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止も鑑み、行事数縮小。 毎月の誕生日会、リーフスポーツ、避難訓練等は固定実施。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からやむを得ず中止した行事を除いては、滞りなく実施できている。	B 3月に校外活動を実施。 その他毎月の固定行事は実施。
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	使用していない部屋の消灯、ゴミの分別、緑のカーテン、空きピンを工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	B	使用していない部屋の消灯、ゴミの分別、緑のカーテン、空きピンを工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	B	使用していない部屋の消灯、ゴミの分別、緑のカーテン、空きピンを工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	B	使用していない部屋の消灯、ゴミの分別、緑のカーテン、空きピンを工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震・火災を想定した避難訓練を中心に年12回実施している。	B 以下の通り毎月実施できている。 ・4月【地震】 ・5月【火災】 ・6月【大雨・水害】	A	夏休み前には水難事故を防ぐため、通常の防災訓練に加え、河川遊びの注意事項や、台風によって増水した河川の怖さなど、河川に近い地域に見合った防災教育に力を入れている点を評価した。	B 以下の通り実施できている。 ・7月【熱中症】 ・9月【水難・台風】 ・9月【地震】	B	地震・火災を想定した避難訓練を中心に年12回実施している。	C 以下の通り実施しているが、予定通りの毎月実施に至らなかった。 ・10月【交通安全】	B	地震・火災を想定した避難訓練を中心に年12回実施している。	B
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	適切に管理されている。	B	B	適切に管理されている。	B	B	適切に管理されている。	B	B	適切に管理されている。	B
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	適切である	B
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	B	適正に整備され、体制が整っている。	B

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。 育成日誌等の帳票類も適切に記載・管理されており、会計処理も適切であり、問題はない。 マニュアル類も整備され、学童保育事業を安定的に遂行するよう努めている。 放課後子ども教室も同一法人が運営を行い、柔軟な学童の参加につなげている。 児童の状況把握も詳細に行い、きめ細やかな対応に心がけている。 今後も学童指導員間の情報共有はもちろん学校や地域の諸団体と良好な関係を保ち、学童保育所運営の一層の推進を期待する。